

一時支援金アンケート結果 【調査概要】

【調査概要】

1. 趣旨

- ◆一時支援金の効果測定(簡易)
- ◆一時支援金受給者の経営状況の把握

2. 調査手法

- ◆対象件数 : 32,185件 ※2022年3月7日時点手続完了者 (中小企業等 14,361件、個人事業者等 17,824件)
- ◆抽出条件 : 一時支援金の支給先事業者のうち、オンライン申請時点において、登録情報の利用について同意した事業者

3. 調査方法

インターネット調査(キントーン+フォームブリッジ)

4. 実施期間

2022年3月15日(火)~3月25日(金)

5. 回収率

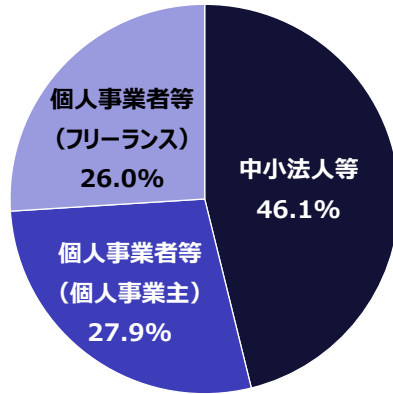
20.7% (有効発送数32,185件/回答数6,674件)

□実施機関

一時支援金事務局(株)近畿日本ツーリスト)・大阪府商工労働部中小企業支援室経営支援課

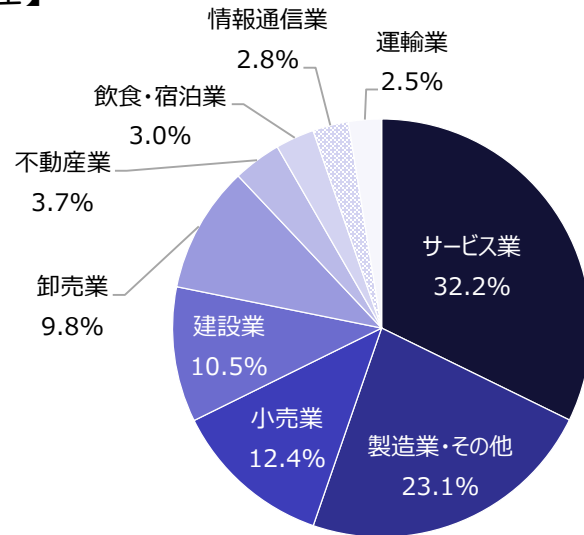
一時支援金アンケート結果①【属性】

【事業者区分】

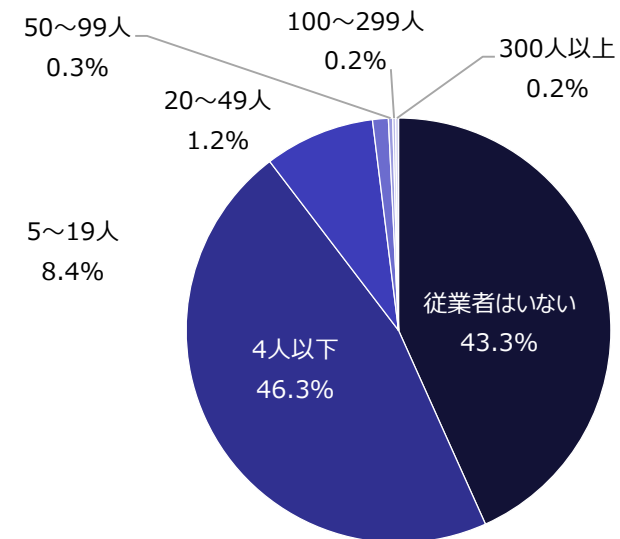


※フリーランス:特定の企業や団体、組織に専従しない独立した形態で、自身の専門知識やスキルを提供して対価を得る人。

【業種】



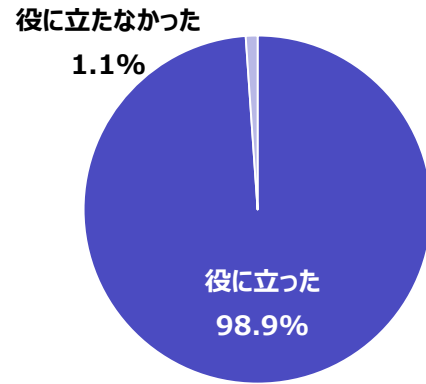
【従業者数】



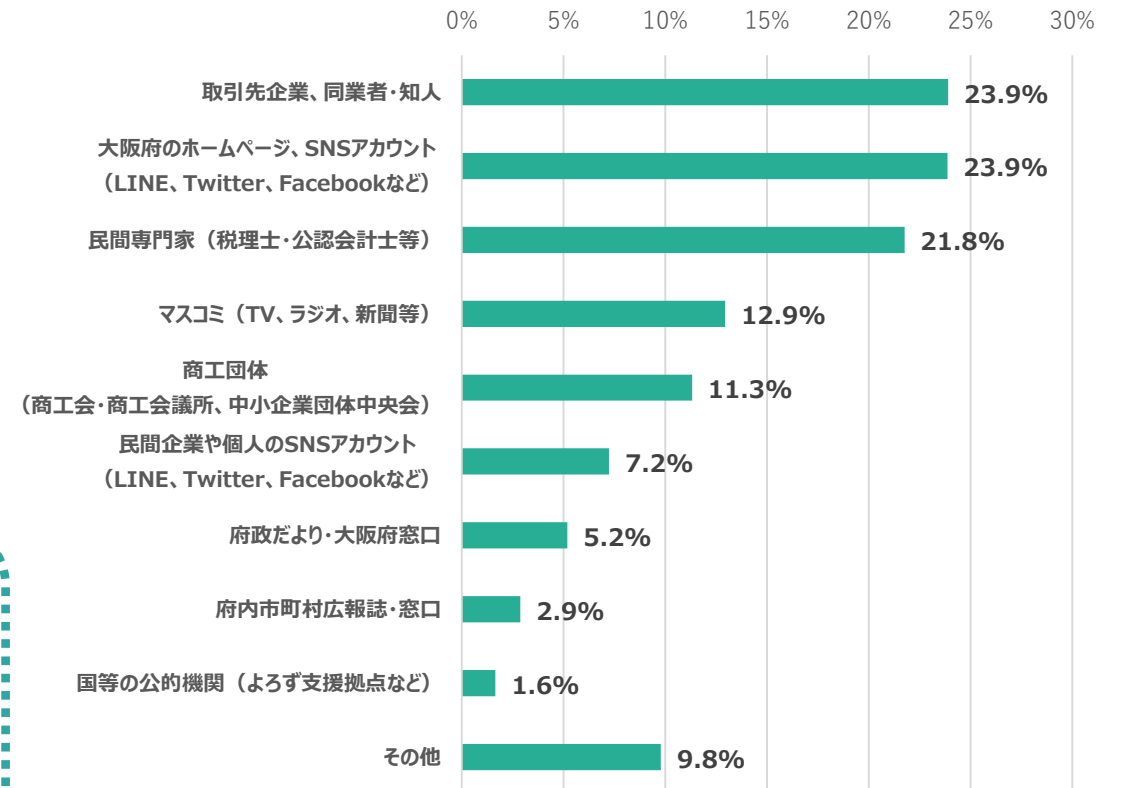
一時支援金アンケート結果②【施策評価・事業運営状況・情報経路】

- ◆回答者のうち、98.9%が一時支援金は役に立ったと回答し、施策効果が確認できた。
- ◆現在の事業運営状況についても、約4分の3がこれまでと同様の事業を継続できている。
- ◆一時支援金の情報は、同業者や大阪府の情報発信ツール、民間専門家から得た事業者が多い。

【施策評価】



【一時支援金をどこで知ったか】(複数回答)



【現在の事業運営状況】

